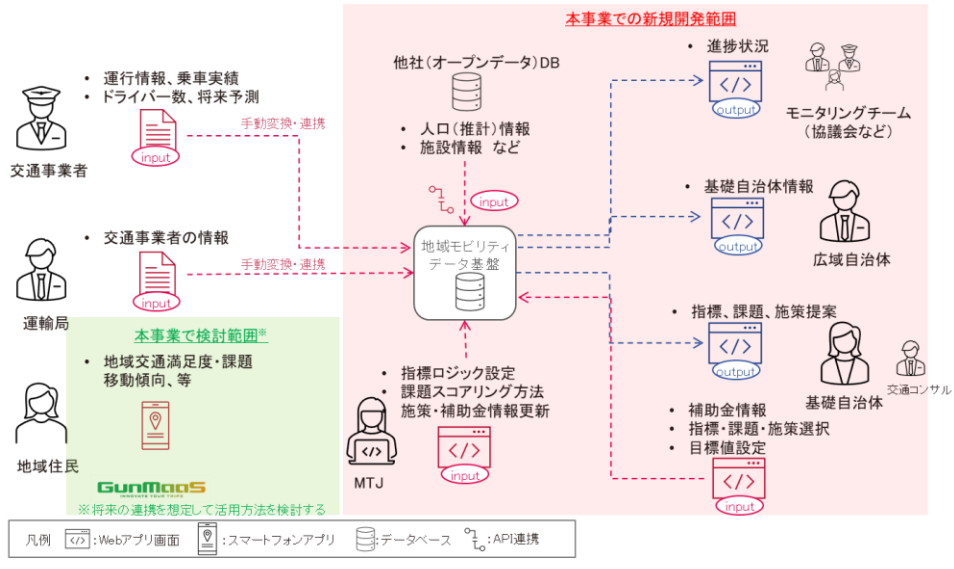


モビリティデータを用いた交通計画策定支援システム実証事業

公共交通の維持が課題である中小の基礎自治体が、実質的な地域公共交通計画を効率的に作成できる地域モビリティデータ基盤と地域公共交通計画支援アプリの構築及び実証を行う。併せて、広域自治体に向けて基礎自治体の公共交通状況が把握できるダッシュボードを提供し、基礎自治体への支援・施策を検討するツールとなり得るかを検証する。

協議会の 構成員※	株式会社MaaS Tech Japan、群馬県、群馬県下の基礎自治体、 日本工営株式会社 (※協議会は結成しないが、上記自治体・事業者と連携して本事業を推進)		事業イメージ	
地域 課題	<基礎自治体の課題> ● 公共交通を維持するために地域公共交通計画を策定し確実な実行を進めたいが、計画策定のための経済的・人的リソースが不足し、計画策定が困難もしくは、補助金申請のための計画に留まる傾向 <広域自治体の課題> ● 回復困難な状況になる前に基礎自治体の支援を進めたいが、客観的な指標をモニタリングする仕組みが無く事後対応になることが多い		 本事業での新規開発範囲 交通事業者: 運行情報、乗車実績、ドライバー数、将来予測 (input) → 地域モビリティデータ基盤 運輸局: 交通事業者の情報 (input) → 地域モビリティデータ基盤 地域住民: 地域交通満足度・課題移動傾向、等 (input) → 地域モビリティデータ基盤 他社(オープンデータ)DB: 人口(推計)情報、施設情報 など (input) → 地域モビリティデータ基盤 地域モビリティデータ基盤: 指標ロジック設定、課題スコアリング方法、施策・補助金情報更新 (output) → 広域自治体、基礎自治体 広域自治体: 進捗状況 (output) → モニタリングチーム(協議会など) 基礎自治体: 指標、課題、施策提案 (output) → 交通コンサル 交通コンサル: 補助金情報、指標・課題・施策選択、目標値設定 (input) → 基礎自治体 ※将来の連携を想定して活用方法を検討する 凡例: </>: Webアプリ画面, 📱: スマートフォンアプリ, 🗄️: データベース, 🔗: API連携	
事業 概要	サービス 開始時期	2025年9月	評価指標	
	事業エリア	群馬県、県下の基礎自治体	● 実証事業としての評価指標：実証時に計測 地域公共交通計画の作成における可能性、難易度、実質度（目標：現状よりも改善） 基礎自治体の現状把握における具体性、迅速性（目標：現状よりも改善） ● 実装時の評価指標：実装段階に計測 地域公共交通計画の策定市町村数（目標：現状10 ➡ 5年後24）	
	MaaS システム	本事業を通して、地域モビリティデータ基盤と地域公共交通計画支援アプリを構築して提供 ● 地域モビリティデータ基盤： 交通事業者データ（運行情報、ドライバー情報など）、住民データ（移動傾向、満足度など）、自治体データ（補助金など）を統合 ● 地域公共交通計画支援アプリ： （基礎自治体向け機能）地域公共交通の現状診断から施策案までをシンプルに提示 （広域自治体向け機能）標準指標で現状診断を行うことで複数の地域の状況を横比較してモニタリングできるダッシュボードを提示		
	交通 サービス	移動関連データ等に基づいた 分析やデータ活用等のみに取り組む事業のため、当該サービス無し		
	交通以外 のサービス	移動関連データ等に基づいた 分析やデータ活用等のみに取り組む事業のため、当該サービス無し	今後の方向性	
事業 目的	● 公共交通の維持が課題である基礎自治体が、実質的な地域公共交通計画を効率的に作成し、施策の推進にリソースを割ける状況を実現する ● 広域自治体が域内の基礎自治体の状況を把握し、重要な課題の認識や必要とされている支援をタイムリーに実施できる状況を実現する		● 仕組みの高度化：実証を繰り返し、より簡単に地域の交通課題を把握し、地域公共交通計画の施策に落としこめるシステムにするための機能改善を実施 ● 他県への横展開：群馬県で得た機能・プロセスを他県で適用し検証を実施 ● 他システムと連携：Well-being指標を可視化するデータ基盤等と連携、公共交通の維持・発展が他分野へ与える影響等の検証を推進	